記 者 発 表

令和８年１１月２５日

担 当 課	地域保健課
担 当 者	土橋
電　　話	（073）488-5105
内　　線	7536

「高血圧ゼロのまち」を目指してエレコム株式会社と連携！！
～血圧計200台の寄贈を契機に連携協定を締結～

このたび、和歌山市が推進する「高血圧ゼロのまちプロジェクト」の趣旨にエレコム株式会社様からご賛同いただき、市民の健康づくりを一層推進するため、連携協定を締結します。

また同社からは、昨年に引き続き、企業版ふるさと納税を活用した血圧計２００台の寄贈についてもお申し出をいただきました。

寄贈いただく血圧計は、高血圧を指摘された４０歳から６５歳の市民にご使用いただき、日常的な血圧測定を通じ健康状態を把握する機会となるよう、効果的な活用を推進します。

本協定を通じて、エレコム株式会社様と連携・協力し、市民の健康意識の向上と地域全体の健康づくりを推進してまいります。

【和歌山市の現状及び健康課題】

健診結果有所見者割合と県内順位　（ワースト順）　（%）

			和歌山市	県内順位	和歌山県	全国
血圧	収縮期血圧130mmHg以上	男性	54.4	10位	52.6	49.4
		女性	49.0	14位	47.9	45.0
血糖	HbA1c5.6%以上	男性	71.9	1位	62.1	59.9
		女性	73.7	4位	62.0	58.8
肥満	BMI25以上	男性	35.6	5位	33.4	33.8
		女性	19.9	12位	19.7	21.3

令和５年度　国保特定健診データ（年齢調整）

和歌山市は、全国及び和歌山県と比較して、高血圧・高血糖・肥満の割合が高い状況です。高血圧は、心疾患、脳血管疾患、腎臓疾患の最大の危険因子であり、適切な血圧管理が極めて重要です。

【協定締結式】

１　日　時　令和８年１１月２７日(金)　１１時００分～

２　場　所　和歌山市役所本庁舎４階市長室

３　出席者　エレコム株式会社　取締役執行役員　医師　葉田（はだ）　甲太（こおた）　様

人事総務部総務秘書課　課長　井端（いばた）　弘幸（ひろゆき）　様

和歌山市長



（寄贈いただいた血圧計）

４　協定内容

（１）市民の健康意識の向上及びセルフケア支援・健康サポートに関すること。

（２）民間企業、地域団体等に対する健康づくり支援に関すること。

（３）健康課題の把握及び解決に向けた調査、研究並びに官民連携の推進に関すること。

（４）その他、市民の保健医療・健康推進に関すること。

○「高血圧ゼロのまちプロジェクト」－血圧を整え、未来を変える－

和歌山市は、令和８年度に、日本高血圧学会が主催する「高血圧ゼロのまち」モデルタウンに承認されました。市民一人ひとりが自身の血圧を知り、生活習慣の改善に取り組むことで、健やかに暮らせるまちづくりを進めるものです。(2026 年 9 月 17 日時点：全国 37 自治体で承認)

高血圧は、脳血管疾患や心疾患、腎疾患を引き起こす大きな要因の一つとされています。こうした病気の発症予防や重症化防止に向け、健診の受診勧奨や血圧測定、保健指導をはじめ、自身の血圧について知る機会の提供、普及啓発イベントの開催などに取り組んでいます。

また、いつでも気軽に血圧を測定できるよう、市役所（1 階 ATM 付近）、各コミュニティセンター、各保健センターに血圧計を設置しています。このほか、市内の指定薬局でも血圧を測定することができます。